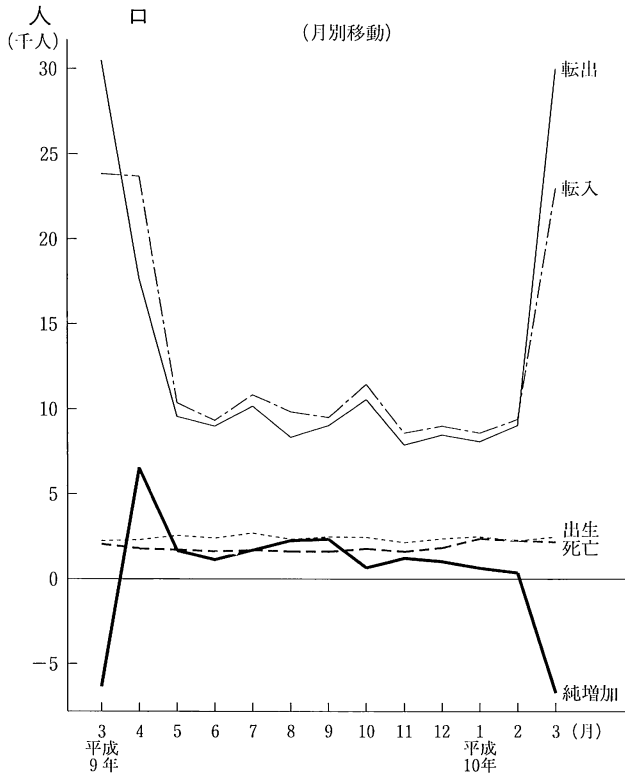
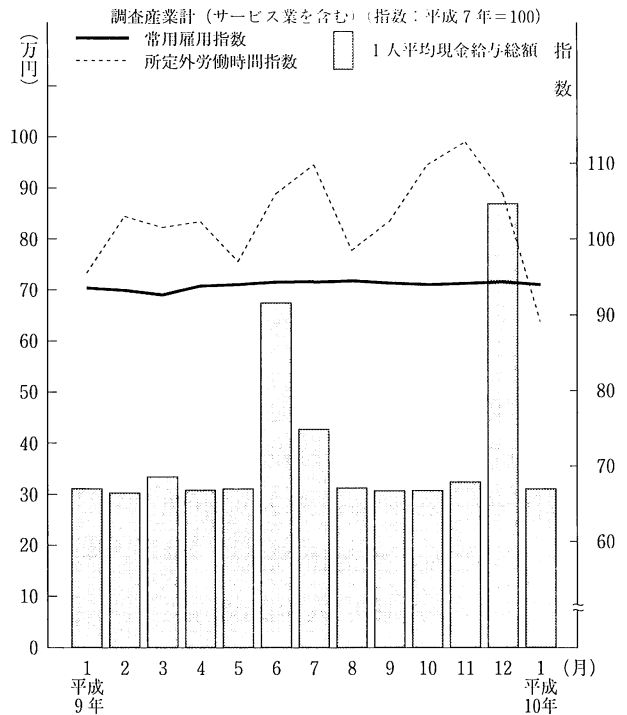


# 今月の主な動き



## 賃金・労働時間・雇用



### ■人口 (10年4月1日)

#### 3月の概況

本県の人口は、3月中に6,707人減少し、4月1日現在で2,979,645人(男1,486,996人,女1,492,649人)となった。

内訳は、自然動態で、311人(出生2,468人,死亡2,157人)増加し、社会動態で7,018人(転入22,971人,転出29,989人)減少した。前年同月と比べると12,751人(0.4%)の増加である。

市町村では、増加が6市10町村,減少が14市55町村,である。

世帯数についても3月中に1,342世帯減少し958,612世帯となった。

### ■賃金・労働時間・雇用 (10年1月)

#### 1. 平均時間の推移

1月の現金給与総額は、調査産業計で311,342円,対前年同月比0.3%増,このうち,きまって支給する給与は298,602円,対前年同月比0.4%減であった。また,このうち,所定内給与は274,090円,対前年同月比0.9%増であり,超過労働給与は24,512円,対前年同月比3.3%減であった。

なお,物価上昇分を差し引いた実質賃金は,対前年同月比1.5%減であった。

#### 2. 労働時間

1月の総実労働時間は,調査産業計で140.8時間,対前年同月比1.5%減であった。このうち,所定内労働時間は128.9時間,対前年同月比1.0%減,所定外労働時間は11.9時間,対前年同月比6.3%減であった。

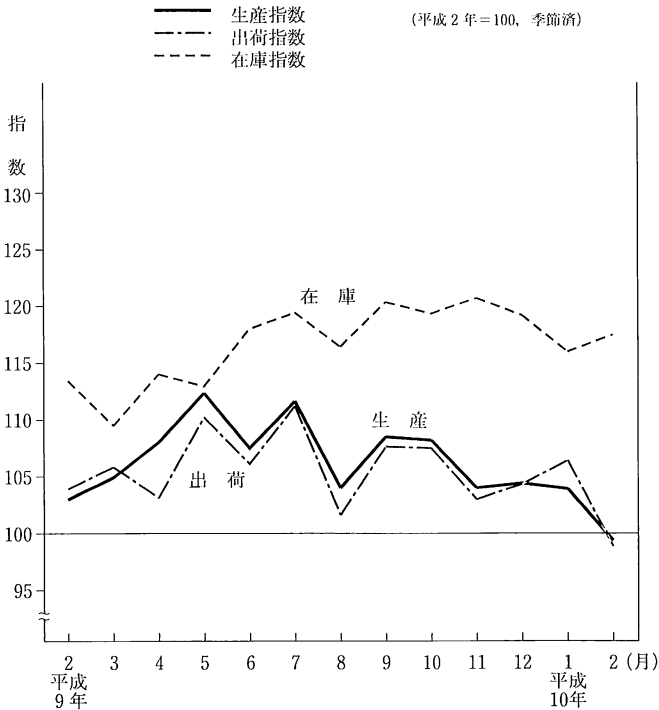
#### 3. 雇用の動き

1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.8%増であった。

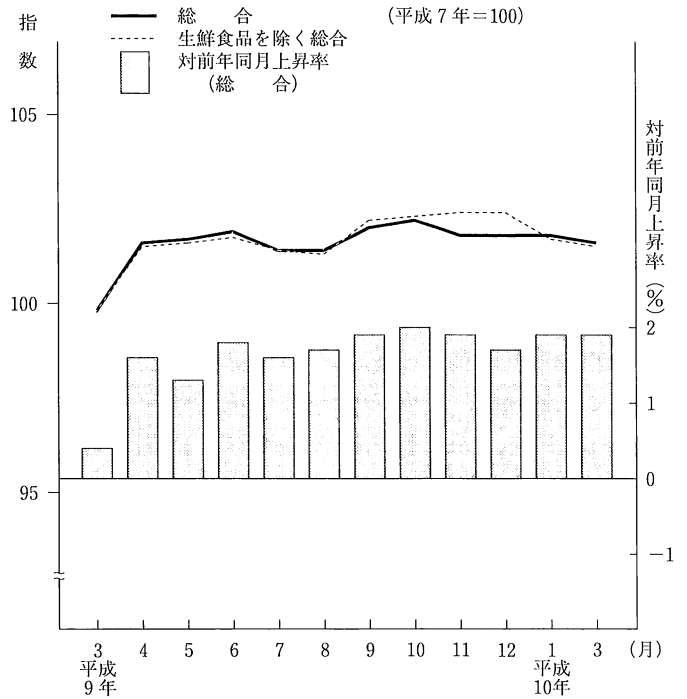
※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお,事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (10年2月)

本県における平成10年2月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が99.7、出荷が98.9、在庫が117.5で、前月比は、生産が4.0%の低下、出荷が7.0%の低下、在庫が1.2%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が3.2%の低下、出荷が4.8%の低下、在庫が3.6%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、化学工業が上昇し、輸送機械工業、一般機械工業、繊維工業等が低下した。出荷では、石油・石炭製品工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、食料品・たばこ工業、輸送機械工業、一般機械工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、精密機械工業、繊維工業等が上昇し、食料品・たばこ工業、非鉄金属工業、鉱業等が低下した。財別にみると、生産では、建設財、耐久消費財等すべての財で低下した。出荷では、その他用生産財、耐久消費財が上昇し、非耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費等が上昇し、非耐久消費財、建設財が低下した。

■ 消費者物価指数 (10年2月)

平成10年2月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で101.6(平成7年=100)となり、前月比0.2%の下落、前年同月比1.9%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……果物6.5%、生地・糸類3.5%、  
教養娯楽用品0.8%

今月の下がった主な項目……衣料4.1%、電気代3.9%、生  
鮮魚介2.4%

生鮮食品を除く総合は101.5となり、前月比0.2%の下落、前年同月比1.8%の上昇であった。

■ 費目別指数

(平成7年=100)

区 分	指数	上 昇 率 (%)		区 分	指数	上 昇 率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	101.6	△0.2	1.9	保 健 医 療	112.9	△0.1	10.8
食 料	102.2	0.1	2.4	交 通 通 信	98.9	△0.1	0.3
住 居	102.3	0.2	0.3	教 育	106.3	0.0	2.9
光熱・水道	102.7	△1.7	1.6	教 養 娯 楽	100.2	0.2	2.5
家具・家事用品	96.7	△0.3	0.4	諸 雑 費	101.6	0.1	2.2
被服及び履物	98.6	△2.6	2.0	生鮮食品を除く総合	101.5	△0.2	1.8